

遠軽町住宅用太陽光発電システム設置費補助金

[新省エネ基準] 断熱材の最低厚さの早見表

ここで示す断熱材の厚さの表は、基準に規定する熱抵抗値に適合する断熱材の種類・厚さを選択することが容易にできるように作成したものです。
したがって、選択した断熱材の熱伝導率によっては、表に記載される厚さよりも薄い厚さでも、基準に定められている熱抵抗値に適合させることが可能となる場合があります。

住宅の種類		在来木造、枠組壁工法等の気密住宅						鉄筋コンクリート造又は組積造 その他これらに類する気密住宅						左記以外の気密住宅					
部位		屋根又は天井	壁	床		土間床等の外周部		屋根又は天井	壁	床		土間床等の外周部		屋根又は天井	壁	床		土間床等の外周部	
				外気に接する部分	その他の部分	外気に接する部分	その他の部分			外気に接する床	その他の床	外気に接する部分	その他の部分			外気に接する床	その他の床	外気に接する部分	その他の部分
単位熱ミリの厚さ (断熱材の厚さ)	必要な熱抵抗値	4.3	2.4	3.7	2.4	2.1	0.6	2.9	1.7	2.9	2.1	2.1	0.6	5.2	3	4.5	3	2.1	0.6
	A-1	225	125	195	125	110	35	155	90	155	110	110	35	275	160	235	160	110	35
	A-2	215	120	185	120	105	30	145	85	145	105	105	30	260	150	225	150	105	30
	B	195	110	170	110	95	30	135	80	135	95	95	30	235	135	205	135	95	30
	C	175	100	150	100	85	25	120	70	120	85	85	25	210	120	180	120	85	25
	D	150	85	130	85	75	25	100	60	100	75	75	25	180	105	155	105	75	25
	E	125	70	105	70	60	20	85	50	85	60	60	20	150	85	130	85	60	20
F	95	55	85	55	50	15	65	40	65	50	50	15	115	70	100	70	50	15	

1.この表において、断熱材の厚さの欄中A～Fは、それぞれ次の断熱材を表すものとする。

記号	断熱材の種類	熱伝導率(W/m・K)
A	A-1 吹込み用グラスウールGW-1及びGW-2(施工密度13K、18K)、吹込み用ロックウール35K相当、シーリングボード	=0.052～0.051
	A-2 住宅用グラスウール10K相当、吹込み用ロックウール25K相当、A級インシュレーションボード	=0.050～0.046
B	住宅用グラスウール16K相当、A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板4号、A種ポリスチレンフォーム保温板1種1号、2号、タタミボード	=0.045～0.041
C	住宅用グラスウール24K相当、32K相当、高性能グラスウール16K相当、24K相当、吹込み用グラスウール30K相当、35K相当、住宅用ロックウール断熱材(マット)、住宅用ロックウールフェルト、住宅用ロックウール保温板(ボード)、A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板1号、2号、3号、A種押出法ポリスチレンフォーム保温板1種、A種ポリスチレンフォーム保温板2種、吹込み用セルローズファイバー25K相当、45K相当、55K相当、A種フェノールフォーム保温板2種1号、3種1号、3種2号、建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種3	=0.040～0.035
D	A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板特号、A種押出法ポリスチレンフォーム保温板2種、A種フェノールフォーム保温板2種2号、A種硬質ウレタンフォーム保温板1種、A種ポリスチレンフォーム保温板3種、建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種1、A種2	=0.034～0.029
E	A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種、A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号、2号、3号、4号、B種硬質ウレタンフォーム保温板1種1号、2号及び2種1号、2号、建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームB種1、B種2、A種フェノールフォーム保温板2種3号	=0.028～0.023
F	A種フェノールフォーム保温板1種1号、2号	=0.022以下

住宅金融普及協会発行、木造住宅工事仕様書(H17、H19)、
鉄筋コンクリート造住宅工事共通仕様書(H15)より
鉄骨補強コンクリートブロック造(補強セラミックブロック造)

(総務部企画課)